



もとみや

議会だより

第87号

令和8年1月28日発行

12月定例会
1月臨時会



紬



歩み
A Future
重ねて
Woven by
紡ぐ未来
Our Journey

※令和8年本宮市二十歳を祝う会テーマ



市議会のHPからもご覧いただけます！

目次

- ・議案Topic P2、3
- ・副議長選挙・特別委員会 P3
- ・常任委員会審査 P4～6
- ・討論 P7
- ・議決結果・賛否一覧 P7、8
- ・1月臨時会 P8
- ・一般質問 P9～14
- ・新年度予算編成要望 P15
- ・上尾市議会合同議員研修 P15
- ・裏表紙・追悼・あとがき P16

4億1,605万円の増額

教育施設や公民館分館の暑さ対策、
保育サービスの拡充などの事業を推進

補正予算の主な内容	補正額
中学校体育館空調設備設置設計業務委託	2,434万円
本宮小学校遮熱フィルム設置工事	
本宮第二中学校体育館LED改修工事設計業務委託	
プリンス・ウィリアムズ・パーク屋外あそび場遊具更新工事	710万円
松沢分館擁壁改修工事	
分館空調設置工事	4,561万円
防犯灯設置工事・修繕料	
こども誰でも通園制度関係	256万円
安達広域行政組合消防費負担金	282万円
	640万円

議案第111号 稲沢分館長寿命化改修工事 (建築主体)請負契約について

稲沢分館の改修契約締結 完成は令和8年7月を見込む

9月定例会の補正予算に計上された白沢公民館稲沢分館長寿命化改修事業の入札が行われ、本宮市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により議案として上程され、可決しました。

Question

議決が必要な契約とは？

市議会では、行政の監視という責務を果たすため、市が契約する工事や製造の請負、財産の取得または処分、不動産または動産の買い入れもしくは売り払いに対して法律または条例に定める金額を超える場合は議決をしなければいけません。



本宮小学校の暑さ対策 遮熱フィルム設置

本宮小学校の南校舎、西校舎2階の暑さ対策として、遮熱フィルムを設置します。

そのほか、学校の暑さ対策として中学校の体育館への空調設備整備に向けて設計業務委託の予算が計上されました。

学校の暑さ対策は、子どもたちだけでなく避難所機能の向上としても重要です。



▲教室だけでなく渡り廊下や階段にも施工



防犯灯 無電柱箇所に整備

防犯灯の数が平成22年から約2倍に増え、計画的整備を終了していましたが、電力柱がない箇所への整備が課題でした。

今回の補正予算では、電力柱がなくかつ、長年地域から要望が出ていた箇所に防犯灯を整備する予算が計上されました。

12月定例会 議案 TOPIC

関連例規及び予算を上程、4月開始予定

こども誰でも通園制度

議案第106号

本宮市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

議案第107号

本宮市乳児等通園支援事業に関する条例制定について

保育所や幼稚園に通っていない児童を対象に、保護者の就労要件などを問わず、誰でも利用できる「こども誰でも通園制度」が令和8年4月から開始されます。利用にあたっては、事前の面談や利用申請が必要で、専用のシステムからの予約が必要となります。

実施場所

本宮市立まゆみ保育所

提供サービス

- ①保育所での通常の保育サービスを提供
- ②保護者の子育て相談
- ③親子通園

対象児童・定員

0歳6か月から満3歳未満で1日4人まで

利用時間

土日祝日を除く9:00～16:00で月10時間まで

利用料

1時間あたり 300円

子ども

- ◆利用児童が保育士や他の子どもたちと関わりながら、興味や関心に応じた遊びや体験を重ねることができる。

保護者

こども誰でも通園制度を利用することで…

- ◆子どもの発達や離乳食、子育ての悩みなどについて、保育士が相談を受け、孤立感や不安感の解消につながる。

発議第8号

議員定数等調査特別委員会の設置

定例会最終日の12日、議員定数等調査特別委員会の設置が全会一致で可決されました。

議長を除く全議員が委員となり、委員長に橋本善壽委員が、副委員長に国分秀好委員が選任されました。

今後、適正な議員定数や立候補しやすい環境を検討するため調査・研究を進めてまいります。

検討の過程は都度、お知らせしてまいります。

副議長選挙



定例会初日の1日、副議長選挙が行われました。

投票の結果、作田博議員が副議長に就任しました。

議員定数等調査特別委員会の設置目的

地方分権が進展し、二元代表制における地方議会の果たす役割は、重要性を増しているなかで、議員のなり手不足が問題になっている。

人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応し、議会の役割や責任を十分に果たすことが求められることから、適正な議員定数や、立候補しやすい環境づくりなどを総合的に調査・研究する必要があるため、議員定数等調査特別委員会を設置するものとする。

総務文教 常任委員会

総務文教常任委員会には、令和7年度本宮市一般会計補正予算(第5号)のほか、議案6件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

用
制度
問
「こども誰でも通園
制度」の利用にかかる費用は。

説明
「こども誰でも通園制度」を「本宮市立まゆみ保育所」において実施するにあたり、必要な事項を定めるもの。



本宮市乳児等通園支援事業に関する条例制定について



説明
夏季における利用者への快適な環境の提供と、指定避難所の機能強化を図るため、空調設備整備にかかる中学校体育館の設計委託料及び、白沢公民館分館の工事にかかる費用を補正するもの。

答
市内3中学校すべてについて実施する。そのうえで、本宮第二中学校の空調設備設計業務委託の内容は。
答
改修後も再利用する。

問
各市内中学校体育館については、LEED化の設計も行う。
答
各分館へ設置する空調設備について、今後改修を行う場合の取り扱いは。

一般会計補正予算（第5号）

行政視察

【研修日】令和7年11月4日(火)～令和7年11月6日(木)

石川県小松市

【テーマ】外国人住民との共生施策

小松市では、人口約10万人の3%に相当する約3,000名の外国人住民が居住しており、外国人共生に関する先進的な取り組みが行われている。本市においても、近年、外国人住民数が増加している現状を踏まえ、小松市の取り組みについて調査研究を行った。

石川県白山市 【テーマ】移住定住施策について

白山市は、全国でも屈指の住みよい街として知られ、また11年連続で転入超過を達成するなど、移住定住において大いに成果を挙げている自治体である。本市においても移住定住政策をさらに推進するため、白山市の施策及び要因の調査を行った。

白山市が最も注力しているのは、子育て世代を焦点に据えた移住・定住の受け入れ環境整備である。さまざまな支援制度が施行されているが、特に「若者・子育て世帯定住奨励金」に関しては、令和6年度において368件、金額にして約2億6,000万円の交付実績があるという。「子育て世代」という明確なターゲットを設定しているこれらの施策が、白山市の社会動態の好調を支えているものと思われる。白山市と本市では、地域の特性が異なるものの、事業立案・推進にあたり多くの参考とすべき部分があるものと感じられた。

特筆すべきは行政サービスの多言語化である。テレビ電話通訳サービスや、外国人スタッフのいるサポートデスクを設置し、一元的な窓口対応を可能としており、令和6年度下半期においては延べ2,000件の利用が認められた。「外国人向け行政サービス整備」の必要性を強く感じた。

その他、日本語教育の充実や防災情報発信など、様々な施策に関する調査を行った。効果的な外国人共生施策を推進するにあたり、大変参考となった。



常任委員会審査

生活福祉 常任委員会

生活福祉常任委員会には、令和7年度本宮市一般会計補正予算(第5号)のほか、議案2件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

答
が今年
による。
が増
加して
いること、
事業所
が増
えたこと
によ
る。

問
加理由は。
障がい児給付費の増
加する。

説明
障がい者福祉サー
ビス給付費について補
正する。

答
3市村の負担割合を
受益負担に応じた分かり
やすい基準とするため、
人口割6割、均等割2割、
消防施設立地割2割の3
方式に改められた結果、
負担金額は本市と二本松
市は増額、大玉村は減額
に至った。

問
安達地方広域行政組
合消防費負担金の見直し
の考え方。また、2市
1村の負担割合に変化が
生じたか。

説明
安達地方広域行政組
合消防費負担金につい
て負担割合の見直しに伴
い、補正する。

一般会計補正予算(第5号)



陳情第8号「物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情書」

陳情審査

陳情第8号「物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情書」について審査を行い、採択すべきと決定しました。

行政視察

【研修日】令和7年11月5日(水)～令和7年11月7日(金)

神奈川県秦野市

【テーマ】総合防災情報システムについて

秦野市では、近年の自然災害の激甚化、頻発化に伴い、従来の「指示を待って避難する」だけでは対応が難しくなっていることから、住民の主体的避難が重要となるため、それを支えるためのシステムとして「総合防災情報システム」を導入している。市の公式LINEから簡単にアクセスすることができるうえ、現在地を中心として、周辺地域の避難所開設状況、被害状況など複数の情報を重ねて表示することや自分にとって不要な情報を非表示にできることなど、視覚的に災害状況を理解しやすいシステムであった。また、避難者情報の事前登録によりスマートかつ漏れのない避難所運営が期待できた。主体的な避難の推進について検討するうえで、大変参考になる事例であった。



静岡県焼津市

【テーマ】子育て短期支援事業及び子育て支援施設運営事業

焼津市では、子育て支援拠点施設「タントクルこども館」を運営している。こども館は未来を担うすべての子どもたちが、限りない夢と創造力を持ち、健やかに成長していくために、「集い・遊び」の機能に加え、読書や体験などの成長段階に応じた「学び」の機能を有する複合的な機能を配置し、子どもを中心とした保護者や幅広い世代の人々、子育て支援団体等が交流できる子育て支援の拠点を目指すことを基本理念とし整備されている。施設内は1階と中2階がこども図書館、2階と3階がおもちゃ美術館となっている。全体を通して木製の遊具が主となっており、2階には魚市場や寿司屋をイメージしたつくりとなっているほか、船の遊具など市の特徴的な産業である漁業について触れることができる。親子での遊びを通じて、市の産業や文化を伝える工夫は、生活福祉に限らず、総務文教、産業建設にも通ずる部分があり、大変参考になった。

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会には、令和7年度本宮市一般会計補正予算(第5号)のほか議案3件が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

現地調査

北川原田市営住宅外壁補修工事箇所、スマイルキッズパーク屋外あそび場遊具更新工事箇所の現地調査を実施した。



▲スマイルキッズパーク屋外あそび場
遊具更新工事箇所

答 使用開始前には必ず点検を行ってから運転するようとしているが、今回エンジンオイルの不足が原因で破損してしまった。今後このような注意しながら管理したい。

答 他に、全体の更新が必要な遊具はなく、一部修繕が必要と判定された遊具については、修繕や交換で対応している。

問 使用開始時のエンジンオイルの点検状況は。

問 他の遊具の更新予定は。

説明 リモコン草刈り機のエンジン補修にかかる経費を補正する。

説明 遊具点検において緊急修繕または撤去もあると判定された遊具の更新にかかる経費を補正する。

一般会計補正予算（第5号）

行政視察

【研修日】令和7年11月12日(水)～令和7年11月14日(金)

熊本県菊池市

【テーマ】事業承継支援事業について

菊池市では令和5年に、商工会、県商工会連合会、金融機関と、「中小企業・小規模事業者に向けた事業承継連携支援に関する協定」を締結し、事業承継に関する課題解決に取り組んでいる。

各機関と連携することで、個別相談会の開催や、事業承継にかかる店舗借入費や設備費などの経費、助成などの支援を行っている。

本市においても、事業者を対象とした実態調査を行い、地域のさらなる活性化を図るために手法を検討していくことも重要であり、今後の参考となる事例であった。



企業価値や譲渡価値査定に要する診断費の一部

福岡県みやま市

【テーマ】防災道の駅について

「道の駅みやま」は、地元の農産物や海産物をメインとした直売所にフードコートが併設された道の駅である。

利用者は年間56万人以上、売上げは年間10億円以上を維持しており、直売所の出荷者数は

500名を超え、地元生産者の重要な販路の一つとなっている。

令和7年5月に国から「防災道の駅」に選定され、災害時の支援車両基地、情報通信拠点を想定した設備が整備され、緊急時の広域的拠点としての期待が高まっている。

本市においても、地域の賑わい創出や農産物の販路確保及び拡大は重要課題であり、今後の参考となる事例であった。

討論・議決結果一覧

討 論

発議第6号

本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

反対

渡辺 忠夫 議員

理由の第一は、今回もまた議員のための条例の一部改正について、議員発議が行われている。県人事委員会の勧告準拠という性格を考えれば、当局の提案が妥当であると思う。議員の提案となると、多様な意見が出にくくなり、そのような状況を議会で作ってはならないと考える。

第二に、今回も引き上げの改正であり、先日期末手当について新聞記事で報道がされた。これを見た市民の方から「あんなにもらっているんだね」と意見をいただいた。昨今の物価高に苦しんでいる方からの意見として受け止めた。市民感情を考え賛成できない。

※賛成討論はありませんでした。

令和7年12月定例会 議決結果一覧

市長提出案件 議案21件 報告1件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第105号	専決処分の承認を求めることについて (専決第8号 和解及び損害賠償額の決定について)	総務文教	承 認
議案第106号	本宮市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第107号	本宮市乳児等通園支援事業に関する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第108号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第109号	本宮市役所総合支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第110号	本宮市議会議員及び本宮市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例等の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第111号	稻沢分館長寿命化改修工事(建築主体)請負契約について	総務文教	原案可決確定
議案第112号	市道路線の廃止について	産業建設	原案可決確定
議案第113号	市道路線の認定について	産業建設	原案可決確定
議案第114号	令和7年度本宮市一般会計補正予算(第5号)	各常任委員会	原案可決確定
議案第115号	令和7年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	生活福祉	原案可決確定
議案第116号	令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第4号)	産業建設	原案可決確定
議案第117号	市道赤木・狐森線道路整備工事請負契約の一部を変更する契約について	省 略	原案可決確定
議案第118号	本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	省 略	原案可決確定
議案第119号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	省 略	原案可決確定
議案第120号	本宮市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	省 略	原案可決確定
議案第121号	令和7年度本宮市一般会計補正予算(第6号)	省 略	原案可決確定
議案第122号	令和7年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	省 略	原案可決確定
議案第123号	令和7年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第3号)	省 略	原案可決確定
議案第124号	令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第5号)	省 略	原案可決確定
議案第125号	令和7年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	省 略	原案可決確定
報告第13号	専決処分の報告について (専決第9号 和解及び損害賠償額の決定について)	-	-

議決結果一覧・1月臨時会

令和7年12月定例会 議決結果一覧

陳情1件、議員提出案件3件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
陳情第8号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情書	生活福祉	採択
発議第6号	本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	原案可決確定
発議第7号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書	—	原案可決確定
発議第8号	議員定数等調査特別委員会の設置について	—	原案可決確定
—	議員派遣	—	決 定
—	閉会中継続審査(各常任委員会)	—	決 定

12月定例会賛否一覧

* ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長(斎藤雅彦)は採決には加わらない
 * 会派名の略称は次のとおり 共…日本共産党 無…会派に所属しない議員

会派名	誠和会							創成・公明の会							新風会			共	無
議員名	石橋	橋本	菊田	磯広嗣	玉川	渡辺	後藤	渡辺	川名	三瓶	菅野	三瓶	馬場	根本	斎藤	田中	国分	渡辺	作田
議案	今朝夫	善壽	広嗣	俊彦	実	幸	誉	秀雄	順子	裕司	健治	幹夫	亨守	利信	雅彦	美代子	秀好	忠夫	博
発議第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○

上記以外の議案等は全会一致で可決されています。

令和8年1月臨時会

令和8年1月臨時会が、令和8年1月8日に開会し、その日に閉会しました。

臨時会では、国の物価高騰対策交付金を受けた補正予算など議案3件、報告1件について審議を行い、全て全会一致で可決しました。

補正予算等の主な内容

物価高騰対策として、全市民への商品券配布、水道料減免、国の物価高騰子育て応援金に対する市独自の上乗せ支給、原料米価格高騰支援、社会福祉施設支援等を実施するための経費、そのほか、熊被害対策を実施するための経費や市道の用地取得・測量費、緊急に実施すべき施設の修繕料などが計上されました。

令和8年1月臨時会 議決結果一覧

市長提出案件 議案3件 報告1件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和7年度本宮市一般会計補正予算(第7号)	省 略	原案可決確定
議案第2号	令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第6号)	省 略	原案可決確定
議案第3号	令和7年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第4号)	省 略	原案可決確定
報告第1号	専決処分の報告について (専決第10号 和解及び損害賠償額の決定について)	—	—

一般質問 市政を問う



一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考え方を聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
田中 美代子 (新風会)	・不登校児童・生徒の現状は ・今後の方針性と方針は	10
磯松 俊彦 (誠和会)	・地域懇談会の今後は ・駅前集合住宅が建った場合効果は	10
玉川 実 (誠和会)	・コミュニティバスの利用者数は ・コミュニティバスの見直し提案は	11
国分 秀好 (新風会)	・今後の認定農業者育成事業補助は ・介護職離職による今後の対応は	11
馬場 亨守 (創成・公明の会)	・五百川駅前・本宮インター前計画は ・市道整備について	12
後藤 友誉 (誠和会)	・熊鈴を児童・生徒に配布しては ・市民協働の草刈りについて	12
渡辺 富幸 (誠和会)	・白沢地区の小学校統合の議論を ・今後のカスハラ対策の準備は	13
菊田 広嗣 (誠和会)	・地産地消の取り組みは ・道の駅の整備の考えは	13
川名 順子 (創成・公明の会)	・HPVワクチン男性接種の助成は ・充電式電池による事故防止対策は	14
渡辺 忠夫 (日本共産党)	・ヤナギなど伐根助成予算化を ・高齢者健康事業に温泉補助を	14



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲狭い市道の電柱(市道 原・高木線)

問 本市水道事業で令和9年度から官民連携(P·P·P)が企画中だがこのような事項では市民との意見交換が重要になるかも知れない。これまで地域懇談会の位置づけと最近の状況は。

答 市政報告と、市民の皆さんとの声を聞き市政に反映させることを目的とし開催してきた。令和元年からまちづくり出前講座を開催。地域懇談会ではなく、まちづくり出前講座を開催し市政について理解を深めていたい場として続けたい。

問 国が定めた優良建築物等整備事業を利用し、既存市街地の再開発を促進する市街地の再開発について検討できるので。駅前集合住宅のメリットを説明する事業者向けチラシを作成しては。立地適正化計画から都市再生整備計画につなげては。

答 優良建築物等整備事業には有料開発型の共同型タイプが該当。地権者が敷地の共同化を行い建築整備する事業となる。事業者に対する周知する予定はない。都市再生整備計画は立地適正化計画が条件、現在作成に向け作業を行っている。

その他の質問

- ・課題解決のための打合せは行政区交付金対象か
- ・狭い市道における電柱移設の具体化は

問 不登校児童・生徒は全国的に増加傾向にあり、大きな教育課題と認識されている。本市の状況は県や全国と比較した場合、不登校の傾向に特徴はあるのか。さらに不登校の要因について教育委員会としてどのように認識しているのか。

答 年度により増減があり市の状況も同様。理由として学校生活にやる気が持てない、生活リズムの不調、不安抑うつが多い。学習の遅れ、定期テストの不安、対人関係、家庭内の不安定、学校の必要性を感じないなど本人の認知問題もある。

問 今後の方針性と方針は
答 適応指導教室の強化を考えている

問 不登校生徒の支援は、
登校するという結果のみが目的でなく最終的には自らの進路を主体的に考え社会的自立を目指す必要があると話があった。そのためには、個別支援の必要性、情報提供が重要と考えるが、今後の見解は。

答 教育委員会として学校、市で開設している適応指導教室をまいる。一中学区に開設の状況であるが二中学区、白沢中学区にもサテライト方式で出張型適応指導教室を強化策の一つとして進めていきたい。

その他の質問

- ・子どもの「居場所づくり」や学習支援の拡充策は
- ・教職員の支援と意識啓発は



問 不登校児童・生徒の現状は

田中美代子
(新風会)



問 地域懇談会の今後は

磯松 俊彦
(誠和会)



問 駅前集合住宅が建つた場合効果は
答 居住人口の増加が期待される



「1人で抱え込まなくても大丈夫。支える人は必ずいます」

問 本市においても農業は基幹産業の一つであり手不足や農家数の減少、耕作放棄地の増加が課題である。その支援として施設や機械購入のために機械補助制度があるが、令和8年度は見直し検討を実施するのか。



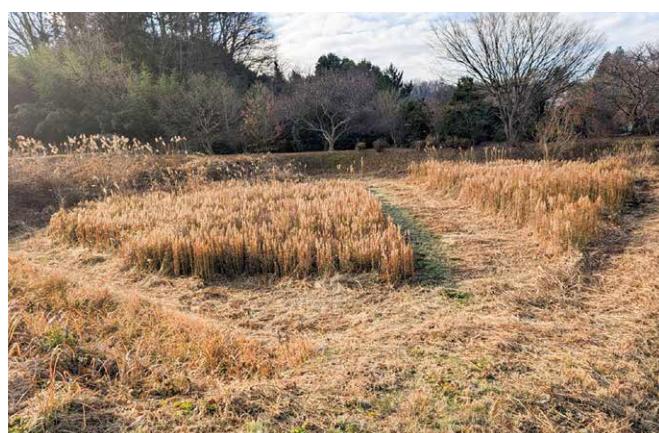
答 補助制度が開始されてから10年を経過しているということで、今までやっていた補助制度が本当に法に則った正しい補助の仕方なのが検証期間を設けて、今後の担い手不足や農家数の減少の課題に対応していくたい。

問 国民の4人に1人が65歳以上という超高齢化率が県内で12・55%と課題になっている。市としての今後の対応は。

答 従業員定着の一助となるように介護資格取得費用の助成金制度を運用している。また、介護の事業魅力発信事業として、学生・高校生に介護の仕事を選んでいただけるような、魅力ある内容のパンフレットを作成している。

その他の質問

- ・新規就農者への補助は
- ・介護職離職の要因は



▲耕作放棄地の増加

問 今後の認定農業者育成事業補助は 補助制度の検証を実施する

国分 秀好
(新風会)



▲コミュニティバスの運行

問 コミュニティバスは5路線で運行されており、それぞれの状況に応じた形態となっています。運行しているコミュニティバスを確認しているが、やはり、利用者の有無が気になることやすべての路線で乗車率が低いと感じるが利用者状況は。



問 コミュニティバスの利用者数は 再編後9・1%増。定着を目指す

答 コミュニティバスの2年間の5路線延べ利用者数は4万5,180人1日あたりの平均利用者数は71・2人。伸び率9.1%である。バスの存在や乗り方の取り組みを広報するとともにフリー・パス他を導入し、利用者の定着を目指したい。

問 コミュニティバスの見直し提案は
今後活性化協議会の中で議論する

答 コミュニティバスの早期における見直しを提案し、少しでも利用者増加に繋げるためには、提案の1つ目は地域性を勘案した路線の変更。2つ目はフリー乗降の検討。3つ目は高齢者等無料化。提案に対する当局の考えは。

答 地域公共交通はどうに住んでも移動可能である。提案のフリー乗降は安全基準や認可により難しいがダメに影響しない前提で軽微な変更は可能である。地域の要望あれば検討したい。高齢者運賃や回数券のサービス導入を議論したい。

玉川 実
(誠和会)



その他の質問

- ・チョイソコの利用者状況と認知度は
- ・ふくしまデスティネーションキャンペーンは



▲市民の善意での市道草刈りは行政区交付金とは別に、資材提供を

問 ①児童・生徒の登下校時の安全のために、熊鈴を児童・生徒に配布してはどうか。②市民には熊鈴を貸し出ししてはどうか。③岩根小学校では入学時に熊鈴を配布している。保護者は不安がある、出没が多い学校から先行としての実施はどうか。

答 ①学校等の要望も確認しながら、熊鈴の配布、熊よけのスプレー有効な対策について検討。②市民への貸し出しは考えていない。③岩根小学校PTAで配布状況は聞いており、有効な対応を検討していく。熊鈴の購入支援について県に要望。

問 市道の除草作業にあたる市民に、草刈りの刃は消耗していくため、市民の負担軽減の支援として草刈の刃を報酬ではなく、資材の提供としてはどうか。また配付対象を地域の作業体制、支えるための体制として、団体にしてはどうか。

答 ボランティアによる除草作業について、個人での活動の頻度や作業時間を市で把握できず公平性を保つため、個人に対して現時点での資材を提供する考えはない。行政区交付金事業を使って行政区として資材等の購入をしていただきたい。

その他の質問

- ・緊急銃猟マニュアル。熊出没の対応訓練計画はあるか
- ・緩衝帯・通学路の誘因物の除去の計画はあるか

問 五百川駅前、本宮インターチェンジ前の土地利用の考え方について。

五百川駅前から西へ国道4号線まで8ヘクタールの地権者と土地の有効活用の話し合いを持つ考えはあるか。本宮インター チェンジ前の農地について、市がもっと積極的に行動を。

答 五百川駅前の農地について、市で農地は買えないと思う。工業団地造成の償還が終わっているのでオーダーメイド方式で進めているが限界を感じる。できる限り市の状況のなかでできることをやっている。

問 市道整備について

答 緊急性の高い箇所を優先している

問 ①北山神・小幡線の整備計画は。南側、整備されていない。②北山神・小原田線について、西側排水路が素掘り、整備を。③万世・鍋田線について、非常に道路が傷んでいる。排水路大部分が未整備。

答 ①すぐに対応することが難しい。②改良計画はない。③損傷が著しい場合は、部分補修などで対応している。



問 五百川駅前・本宮インター前計画は

答 オーダーメイド方式に限界を感じる

馬場 亨守
(創成・公明の会)



▲万世・鍋田線

後藤 友誉
(誠和会)



問 市民協働の草刈りについて

答 環境維持、交通安全確保に感謝

問 市道の除草作業について

答 ボランティアによる除草作業について、個人での活動の頻度や作業時間を市で把握できず公平性を保つため、個人に対して現時点での資材を提供する考えはない。行政区交付金事業を使って行政区として資材等の購入をしていただきたい。

問 市内需要を戦略的に引き上げることができ、収入が見込めるとなれば、生産量の底上げにつながり、作付けの量は増え、それは就農者の底上げにもつながると思うが市としてはどのように考えているのか。

答 担い手不足や高齢化によって作付面積が減少している。まず生産量の確保による安定供給が必須。そのうえで地元産品とのコラボ商品化や地元商店街での消費を増やす取り組みなど、商工業との連携も考えながら、地産地消を進めていきた

問 農産物の直売所、六次化施設、観光誘客の拠点、物流在庫管理機能などを統合した地域経済の核としての道の駅が成果を挙げていると聞く。本市でも農業の振興、観光振興、地産地消についての考えは。

答 物産館のような形でりから集め、陸の港、物流基地として、その中に農産品があるということであれば十分可能。本宮という理的条件を十分生かした中地に地の駅や類似した施設の可能性が全くないとは言えない。逆に考えていくべき。

その他の質問

- ・新規就農者が農地を集約しやすいシステムは
- ・首都圏販売等による効果の拡充策は



▲担い手・流通・販路を一体で捉えた農業振興（画像は議員本人が生成AIにより作成）



問 地産地消の取り組みはまずは安定した生産量を確保

菊田 広嗣
(誠和会)



▲白沢地区の小学校の統廃合について早急に協議・議論を開始すべき

問 適正規模に満たない白沢地区の小学校について、小学校の統廃合の協議は幼稚園統合の協議より年月が掛かる可能性が高いと思われる。教育委員会で統廃合の協議・議論を開始しても良いのではないか。教育長の見解は。



問 白沢地区小学校統合の議論を

答 統廃合の基本方針をまとめ示す

答 将来を見据えて、教育の質を確保しつつ適正な学校配置について検討する必要性は十分ある。児童数の推移を見ながら、今後の学校配置の方について、教育委員会としての共通の判断基準及び進め方の原則化を明確に示していきたい。

問 今後のカスハラ対策の準備は

答 準備・検討を進めている

問 カスハラ対応マニュアルの整備や電話の録音機能追加等、やらなくてはならないことが多いとする。今後のカスハラ対策として、今現在、準備検討していることは何か。

答 カスハラ対応ハンドブック作成を進めている。12月庁議において内容を協議し決定をしていきたい。また、電話等の通話録音機能の整備や庁舎出先機関へカメラの設置について、新年度予算で現在検討を進めているところである。

渡辺 富幸
(誠和会)



その他の質問

- ・統廃合の形について調査研究を進めるべきでは
- ・幼稚園や学校でカスハラ対策を講じているのか



▲インフルエンザの予防接種を

問 2025年度主食用米は生産者の努力によつて、増産となつたが、飼料用米や加工用米の振替によるもので作付面積は、増えていない。市はどうに認識しているのか。また来年作付けを増やすという考えは、ヤナギなどの伐根助成予算化の考え方を伺う。

答 前政権の時に備蓄米を大分放出している。国が保有している備蓄米含めたお米については、足りていないと考える。作付けをしなくなつた田んぼは問題ととらえていい。根を抜く伐根補助は、メニューとしてあるため対応したいと考えている。

問 高齢者の健康事業について、温泉宿泊などに補助しているところがある。近くでは二本松市でやっているが大変人気があると聞いている。本市でも高齢者の健康事業として何かできないものか伺う。

答 高齢者を対象とした温泉宿泊などの補助については現在市内に公共の入浴施設として高齢者ふれあいプラザ荒井及び岩根と多世代交流施設ぶくま憩の家、あだたら憩の家の4箇所ある。いずれの施設も60歳以上100円で利用できる。積極的に利用願いたい。

その他の質問

- ・インフルエンザ予防接種の助成拡充について
- ・放課後児童クラブの受け入れ拡充について

問 子宮頸がんは予防可能ながんだが依然として若年女性の命を脅かす深刻な疾患。今年8月に男性にも接種が承認され、男性もHPV感染により肛門がんや咽頭がん、陰茎がんなどHPV関連がんの疾患に罹患するリスクをワクチン接種で予防できるが。

答 安達医師会から子宮頸がん予防はもとより女性を守るという観点から男性のHPVワクチン接種が大変重要であるとの提言をいただいている。女性の対象年齢と同じ年齢の男性に対しワクチン接種助成に向け予算の確保・医師会との調整をしていく。

問 全国的にリチウムイオン電池火災が過去最多ペースで増えている。本市のごみ収集車や処理施設の発火、発煙やヒヤリハットの事例はあったのか。これらの事故を未然に防ぐため、高齢者や若い世代、外国人に分かりやすい周知方法を検討すべき。

答 処理施設内の発火ケーブルによるもの。ステーシヨンの乾電池回収袋で可能としていたが市民への理解浸透が十分でなかつた。今後、最新版の手引書の配布、市の広報誌やSNSも活用し適切な回収方法に努める。

**問**

答 ワクチン接種助成に向け準備する

川名 順子
(創成・公明の会)



問 ヤナギなど伐根助成予算化を
答 意向などを調査し考えていきたい

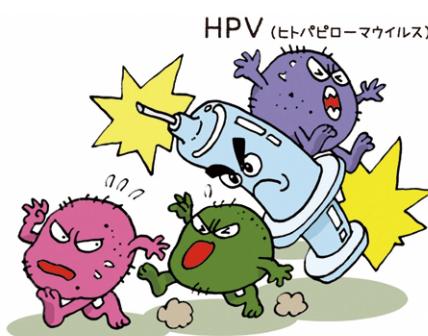
渡辺 忠夫
(日本共産党)



問 高齢者健康事業に温泉補助を
答 ふれあいプラザ積極的利用を願う

その他の質問

- ・有害鳥獣捕獲従業者の確保と支援強化について



©KOMEITO
▲HPVワクチンを男女に接種し社会全体でHPV感染環境を下げる

新年度予算編成要望・上尾市議会合同議員研修



左から菅野健治生活福祉常任委員長、作田博副議長、斎藤雅彦議長、高松義行市長、石橋今朝夫産業建設常任委員長、川名順子議会運営委員長、菊田広嗣総務文教常任委員長

12月4日に、市長へ新年度予算編成に対する要望書を提出しました。

本宮市財政運営計画に基づき、より効率的・効果的な財政運営が実行されることを要望し、正副議長、議会運営委員会委員長、各常任委員会委員長それぞれから市長に説明をしました。

一部を抜粋してお知らせします。

市長へ新年度予算編成要望書を提出

生活福祉常任委員会

- 家庭・学校・地域においてドライバーや子ども、高齢者の交通安全意識の高揚を図るとともに、防犯灯の適正な維持管理を行い、安全・安心なまちづくりに努めること。
- 火災や水害など、様々な自然災害に備え、自主防災組織の設立の促進と既存組織の活性化を図り、自助・共助力の強化に努めること。
- 高齢期における保健事業及び介護予防事業を関係機関と連携して取り組むこと。
- 関係機関と連携しながら相談支援体制の充実強化を図り、様々な困難を抱える子どもと家庭を包括的に支援すること。

総務文教常任委員会

- 複雑・多様化する行政課題や新たな課題に迅速に対応できる職員の人材育成に努めること。職員の心身の健康管理及びワークライフバランスの推進に努めること。
- DX推進計画に基づき、生成AIの導入をはじめとした自治体DXの推進を図ること。
- 老朽化した学校施設等の修繕・更新を、適正かつ計画的に実施すること。
- 地区公民館・分館等の改修・施設長寿命化事業を計画的に実施すること。

産業建設常任委員会

- 計画的に企業誘致を進めるとともに、積極的に交渉を行い、立地の可能性を明確にした上で整備事業を進めること。また、誘致企業と地場企業の連携を支援すること。
- 農業担い手の育成・確保に努めること。地域農業の中心となる認定農業者へ十分な支援を行うこと。また、新規就農者への確保・育成のため積極的な就農支援を行うこと。
- 五百川駅周辺の整備促進と本宮インターチェンジ周辺の開発促進を図ること。

上尾市議会と合同議員研修会を実施 生成AIを学ぶ

10月30日から31日にかけて、埼玉県上尾市議会と本宮市議会の合同議員研修会が開催されました。初日の30日には、あげお富士住建ホールで「ゼロから始める地方議会でのChatGPT活用講座」を演題に、早稲田大学デモクラシー創造研究所の西川研究員と山内研究員を招いて行われました。



▲研修写真が生成AIを使いスケッチ風に加工できる(右上) 便利な反面、権利侵害やデマにならないよう注意が必要

2日目の31日には、上尾市内にある埼玉県立武道館及び埼玉アイスアリーナの視察を行いました。

研修では、生成AIの仕組みを学ぶとともに、ひとりひとりが実際に手を動かして生成AIにプロンプト(AIへの指示文)を入力し、生成された目的の文章や資料を確認しました。

自治体のDX推進やAIの活用は喫緊の課題であり市も検討を進めていると一般質問で答弁もありました。本宮市議会でも、議員ひとりひとりが時流に遅れず時代に適応していく必要があります。この研修で得られた知識を今後の議会活動や市政の発展に活かしてまいります。

故伊藤隆一副議長のご逝去を追悼



去る11月7日、故伊藤隆一副議長がご逝去されました。

定例会初日の12月1日に、産業建設常任委員会の石橋今朝夫委員長が議会を代表して議場で追悼のことばを述べ、ご遺族を前に出席者全員が黙とうを捧げました。

6期26年にわたり、地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献された故伊藤隆一副議長の功績を讃え、国から勲章が授与されています。
ご冥福をお祈りいたします。

議会だより第86号のお詫びと訂正

議会だより第86号(令和7年10月29日発行)の掲載記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正箇所	内容
5ページ 決算審査質疑の「子育てパパママリフレッシュ事業」の答弁	答弁中、「ホームビジター」(家庭訪問を行うボランティアスタッフ)について正しくは「ホームスタートオーガナイザー」(家庭との調整を行うスタッフ)の誤り
15ページ 後藤友誉議員の一般質問	後藤友誉議員の所属会派が「新風会」となっているが正しくは「誠和会」の誤り

公式SNS フォロー・リポスト
お願いします。

開かれた議会を目指し若者の政治参画を図るため、公式SNSを開設しました。

皆さん、ぜひフォローをお願いします。



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本号では、令和7年12月議会の内容を中心に、市政の動きや議会での議論をお伝えしております。私たち議会は、市民の声を市政に反映させる役割を担い、市民の皆さまの暮らしに寄り添い、安心して暮らせるまちづくりに向けて、活発な議論と責任ある判断を重ねてまいります。

本年も、皆様にとって健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申しあげます。

あ
と
が
き

発行責任者
議長
斎藤
田中美代子
俊彦
後藤
磯松
田中
渡辺
玉川分
根本
作
雅彦
利信
秀好
富幸
友誉
博

中

3月議会定例会は**3月2日**に開会予定です。請願・陳情は**2月17日**(16時まで)締切です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。